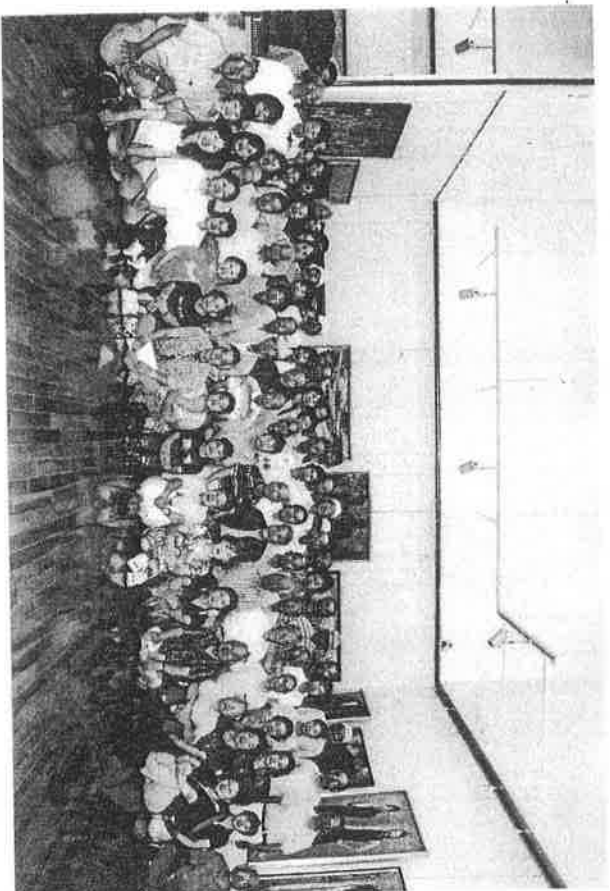


銀光会



概要

創立年月日 昭和8年
代表者 宮本正 (みやもとただし)
会員数 156名
住所 熊本市横手4丁目5-3
主な活動地 熊本県

地域文化活動部門

銀光会は昭和八年に在熊の洋画家田代順七、太田黒幸、松岡正直、米村潤之らにより結成されました。そ

の名称は熊本城の別名銀杏城の「銀」と昭和七年に東京で誕生した東光会の「光」に由来しています。設立時からヨーロッパの真似事に走るのをいまして、写実による日本人の油絵を目標ぞうという精神に基づいて活動を続けてきました。

昭和十八年頃になると戦争で会員も散り散りになり、ほとんど活動停止状態になりましたが、昭和二十二年頃わずかな会員が再び集まり、「国が立ち上がるには文化しかない」との思いで後期銀光会の活動が再開しました。

毎年開かれる銀光展は、会員・会友及び一般の作品発表の場として熊本で最も長い歴史を持つ展覧会で、平成十八年七月には第六十九回銀光展を終えました。その他講習会や研究会、写生会、デッサン会等を行うなど、県内の芸術文化の進展と後進の育成に尽力しています。

今日まで半世紀以上の永年に亘る活動は、郷土熊本

の芸術文化の向上、振興に大きく寄与しています。

これまでの活動歴

- 昭和八年 銀光会創立
- 昭和十八年～二十一年 戦争のため、活動停止
- 昭和二十二年 活動再開
- 昭和三十七年 第二十五回記念銀光展開催
- 昭和四十七年 第三十五回記念銀光展開催
- 昭和五十二年 第四十回記念銀光展開催
- 昭和五十七年 第四十五回記念銀光展開催
- (銀光会創立五十周年記念展)
- 昭和六十二年 第五十回記念銀光展開催
- 平成四年 第五五回記念銀光展開催
- 平成九年 第六十回記念銀光展開催
- 平成十四年 第六十五回記念銀光展開催
- その他銀光展(毎年開催)
- 講習会(毎年実施)
- 研究会(年数回実施)
- 写生会(年数回実施)
- デッサン会(月一回実施)
- 会報発行(年一回)